



長崎県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「不離一体・中小企業経営に役立つ同友会活動の実践」
～同友会活動が企業を支え、地域を育てる～

**第49回 中小企業問題
全国研究集会 in 長崎**

2019年
2月 / 21(木)・22(金)

1日目: 13時開会 分科会
2日目: 9時開会

長崎から伝える平和へのメッセージ 田上 富久氏
記念講演 高田 明氏

演題
「夢持ち続け日々精進」

記念講演
高田 明氏

株式会社 A and Live 代表取締役
たか あきら
高田 明氏
・(株)V・ファーレン長崎 代表取締役社長
・(株)ジャパネットたかた 創業者



長崎から伝える
平和へのメッセージ

た う え と み ひ さ
長崎市長 **田上 富久氏**

スケジュール

◆1日目 2月21日(木)

12:00 受付開始

13:00 開会・分科会

会場

- ・ホテルニュー長崎
- ・サンプリエール
- ・ザ・ホテル長崎 BW
プレミアムコレクション
- ・ルークプラザホテル

19:00 懇親パーティー

会場

- ・ホテルニュー長崎

21:00 1日目終了

◆2日目 2月22日(金)

9:00 全体会・あいさつ

「長崎から伝える平和のメッセージ」

長崎市長 田上 富久氏 (30分)

「記念講演」

(株)A and Live

代表取締役 高田 明氏

- ・(株)V・ファーレン長崎 代表取締役社長
- ・(株)ジャパネットたかた 創業者

12:00 閉会

あと **133** 日!!

※10月11日現在

メインテーマ

時代の大転換期に立ち向かう覚悟と実践～
「人を生かす経営」を広げ、地域再生を

長崎同友会担当の2分科会の報告者が決まりました！

第6分科会

共に生き共に育つ地域と企業に

(有)エス・ケイ・フーズ
取締役

中村 こずえ氏

長崎同友会副代表理事
前女性部会・障がい者問題
担当委員長



第12分科会

中小企業憲章・条例

大村市長

園田 裕史氏



(有)菅原産業
取締役

菅原 千代枝氏

長崎同友会理事
ダイバーシティ委員長



(株)大幸企画
代表取締役

時 忠之氏

長崎同友会理事
政策委員長



目次

第49回 中小企業問題全国研究集会 in 長崎 開催案内	1	会員活躍	16
各界からの提言	2	事務局企業訪問	17
第6回 人を生かす経営全国交流会 in Miyazaki 参加報告	3	新入・交代・復会会員紹介	18
2018年度 第1回 中同協経営労働委員会 参加報告	8	理事会報告	22
9月例会報告	9	会員動向・会員数	23
2018年度 役員研修会 参加報告	15	11月例会案内	24

各界からの提言

長崎県中小企業団体中央会 会長 石丸 忠重



プロフィール

■生年月日：昭和23年2月15日

■現在：株式会社石丸文行堂代表取締役社長

■公職：・長崎県商店街振興組合連合会理事長 ・全国中小企業団体中央会理事

・(公社)長崎法人会筆頭副会長 ・(一社)長崎県観光連盟理事

長崎県中小企業家同友会におかれましては、本年度のビジョンを「私たち中小企業家が長崎を牽引している！」として、県内中小企業・小規模事業者の成長・発展のために尽力されておられますことに敬意を表します。

また、来年2月には県内外から約1,100人が集まり長崎市で経営問題の研究を行う全国大会が開催される予定であり、本大会の成功を心からお祈りいたします。

さて、わが国経済は国の各種政策の推進により、緩やかな回復基調にあると言われていますが、本県においては人手不足や後継者難、地域の疲弊等により、依然として企業収益が改善せず、景気回復の実感が得られない厳しい状況が続いています。

このような中、国におきましては、平成29年度補正として「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業」が1,000億円規模で予算化されるとともに、平成30年度税制関係では、中小企業の事業承継を力強く後押しするため、事業承継の際の贈与税・相続税の負担軽減を目的とした「事業承継税制」が拡充されるなど、中小企業支援策が強化されています。

一方、本県では「明治日本の産業革命遺産

製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に続き、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が、去る6月28日に世界文化遺産に登録されました。これによる県内経済への波及効果が、観光関連を中心に新たな追い風として期待されています。

私ども長崎県中小企業団体中央会は、中小企業の組織化とその強固な連携による共同事業を推進することによって、中小企業の振興発展を図っていくことを目的として活動しており、事業協同組合を始めとする会員等は568団体、組合等への加入事業所数約19,800社となっています。

本会では現在、巡回・相談支援を基本業務として、各連携組織の課題と支援ニーズの把握に努め、既存組合の活性化や連携による組織づくりを最優先に推進しています。また、生産性向上のための「ものづくり補助金」や「サービス産業振興加速化事業」に取り組むとともに、「外国人技能実習制度」の適正な運営指導などを行っています。

長崎県中小企業家同友会の皆様におかれましては、これからも本会に対して一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

第6回 人を生かす経営全国交流会 in Miyazaki 参加報告

開催日：9月13・14日(木・金) 会場：宮崎観光ホテル

<1日目>

リレー報告

・「人を生かす経営」の総合実践を ～地域の担い手として～

- ①(有)佐藤徳太郎商店 代表取締役社長 佐藤 進幸 氏 秋田同友会共同求人副委員長
- ② ぜんち共済(株) 代表取締役 榎本 重秋 氏 中同協障害者問題副委員長
- ③(株)現場サポート 代表取締役 福留 進一 氏 鹿児島同友会副代表理事
- ④ 義農味噌(株) 代表取締役 田中 正志 氏 愛媛同友会代表理事

問題提起

中同協・人を生かす経営推進協議会代表 加藤 明彦 氏 愛知同友会会長

<2日目>

・豊かな未来をひらく中小企業 ～宮崎同友会ビジョンづくりで明確になったこと～

宮崎同友会 代表理事 田原 敬介 氏

・「地域のインフラ」を担う中小企業の姿 ～全国の実践から～

中同協 専任講師 松井 清充 氏

代表理事 金井 政春

2年に一度開催で第6回となる、「人を生かす経営」全国交流会 in 宮崎に参加して参りました。4年前の第4回長野県で開催された「人を生かす経営」全国交流会に参加し感動して、第5回開催の千葉県に続き3回目の参加でした。

宮崎同友会は当初350名規模にて開催を計画しておられたそうですが、参加希望者が多く一時キャンセル待ちの状態だったと伺いました。急遽会場設定等を変更して540名にて開催されました。ホテルのワンフロアに52のテーブルを並べ、1テーブル10名以上、テーブルとテーブルの間隔も狭くやや窮屈ではあったものの、2時間のグループディスカッションは熱気に満ち溢れて圧巻でした。

分科会は無く4名の方のリレー報告でした。最初は秋田同友会の佐藤さんより「新卒採用で会社が変わった」と題して報告がありました。

10年前社員さんの年齢を考え10年後の会社が不安になり新卒採用に取り組みられました。その結果、新入社員を一人前にするには先ずは自分達が一人前にならなければとの意識が芽生え、ベテランが積極的にフォローするなど新入社員が増えるごとに社風が変わったとの報告でした。我が社も新しい血を入れる必要性を感じました。

2人目は神奈川同友会の榎本さんより「就労困難者を企業に、共生社会の実現へ」と題して報告がありました。現在、身体障害者436万人、知的障害者100万人、精神障害400万人の方がおられ、15歳～39歳の方で引きこもりの方が54万人おられることに驚きました。恥ずかしながら採用に消極的な私



ですが「知らないから壁がある、知ることによって壁が無くなる」との言葉が私に新たな刺激を与えてくれました。

3人目の報告は「感謝」と「承認」の風土づくりと新しい働き方へのチャレンジと題して、鹿児島同友会福留さんの報告でした。個人の欲求と会社の欲求をすり合わせる事。社員は仲間である。よって信頼し自主性の発揮できる会社をしよう。その為に①社員と信頼関係の確立 ②会社の情報公開 ③コミュニケーションの確立 ④権限移譲の流れを作ろうと報告されました。

4人目は愛媛同友会の田中さんによる「ワンマン経営からの脱却！いかに社員の主体性を引き出すか！」のテーマにて報告がありました。社員は自分より劣っていると考えていた田中さんでしたが、何とか社員に主体性を持ってもらおうと、1時間の会議で何の意見も出ない会議を粘り強く6回開催しやっと意見が出る会議になったとの報告でした。直ちに学びを実行に移す決意を持ちました。

この他にも、問題提起、基調報告等にて多くの学びがありました。

副代表理事 山領 進

今回の「人を生かす経営全国交流会」では我々中小企業、小規模企業が「地域のインフラ」として機能しなければならないという事を学びました。インフラとはインフラストラクチャの略で、産業や生活を成り立たせるために必要な施設やサービス、たとえば道路、鉄道、通信施設や空港などの産業基盤、あるいは電気、ガス、水道といったいわゆるライフラインと呼ばれるものを指すのですが、我々が地域においてそんな存在にならなければならないという宣言です。ここで「地域」とは何を指すか？という疑問が出てくるのですが、私自身の理解としては自社の主たる営業エリアと規定していいと思います。元々同友会では、地域になくってはならない企業を目指しましょうと事あるごとに言われてきましたが、それを「インフラ」と言い切るところに新たな説得力を感じました。そしてその為に必要なことが、「人を生かす経営」です。今回はさらに進めてその総合実践をしましょうと訴えられました。自社の目的や利潤の追求などにとどまらず、社員の生き

がいの創造、働きがいの創出、ひいては人間らしく生きるための労働環境を整えるという思想を持ち、そこを軸に地域のビジョンを問い直し、その思いに応えるためにこんな企業になっていこうと目標を掲げることが全ての出発点になります。その上で就業規則の定期的な見直し、ダイバーシティ経営への取り組みなどを経営指針に盛り込んで実践していくことが、「人を生かす経営の総合実践」とされました。

私自身は、グループ討論の中で「我が社の地域の中での存在価値は何だろうか？」ということが話題になり、改めて深く考える機会になりました。我が社にとっての「地域」とは？ どの分野に力を注ぐのか？ 何を改善するのか？ 雇用についての方針は？ 我々が地域のインフラとなるためにはどうすればいいのか？等々、色々なことを経営課題として再認識いたしました。

当社は、そろそろ来期に向けての経営計画書に着手しなければなりません。今回学んだ事を生かして今後の方針、展開につなげていきたいと思っています。

経営労働委員長 宇土 敏郎

久しぶりの全国大会参加でした。今回は「人を生かす経営」がテーマでした。

今長崎同友会はこの問題に取り組み始めています。特に4委員会（経営労働・共育・共同求人・ダイバーシティ）が横断的に取り組みを始めていたので、関心深く参加しました。

1日目は、リレー報告と問題提起でしたが、時間的に報告が短く、消化不良でした。問題提起は、大きなテーマで討議が深まりませんでした。

2日目は、「地域のインフラ」として中小企業は生きるという基調報告は、大きな学びでした。経営指針の実践セミナーでも、経営理念、10年後のビジョンと現在の職種から広義な広がりがない会員が多いです。この中に「地域のインフラ」というキーワードを加えて考えていただくと夢が具体的になると感じました。

更に、宮崎同友会の「ビジョン誌」は素晴らしく、長崎も必要であると感じました。会員の新規勧誘にも、入会の浅い会員向けの同友会活動の思いをまとめた「ビジョン誌」は大きな力になると思います。

佐世保支部長 直江 弘明

人を生かす経営に関する4名のリレー報告の後、人を生かす経営推進協議会の加藤さんの問題提起、その後グループディスカッションという流れで会が進められた。リレー報告4人目の佐藤さんは佃煮の製造販売会社。平均年齢60歳を超える職人気質の会社の体質を変えようとするが、うまくいかない。その中で新卒採用を決断し、新人に関わっていく過程で、先輩社員の意識が変わり社風が変わっていく様子が興味深かった。

2人目の報告者は障がいのある方を対象とする保険業を営む榎本さん。4400名の障がい者の就労や日常生活をバックアップするという事に絞り込んだ保険業の経営。幸福学を組み合わせた企業づくりと障が

い者の就労や日常を支援する方法に興味を持った。

3人目の報告者は、建設業を対象とした、IT企業の福留さん。個人の生産性は高いが、離職率が高い会社から、企業変革支援プログラムによって社員満足度を高め、新卒採用者の離職が5年間13名でゼロという、感謝と承認の企業風土を作り上げている。社員を仲間として考え、社員との関係確立のために徹底的な情報公開と双方向コミュニケーションをとり、組織として生産性の高い会社になる迄の社員共育の過程が非常に参考になった。

4人目は味噌、醤油、ドレッシングの製造販売業の田中さん。7年間業績が落ち続けたワンマン経営から、同友会に学び、社員の声に耳を傾けた商品開発に挑戦し、付加価値の高い商品の販売を通して社員の主体性が生まれ、会社の理念が確立していく。社員との関係

の変化、一体化の様子が参考になった。

加藤さんの問題提起や二時間のグループディスカッションを通して、よい会社をつくるためには、社員を頼りがいのある仲間として、社員の成長を企業の発展

と位置づけて、働きやすい企業風土をつくり上げること。会社の10年ビジョンと連動して、社員一人一人の10年ビジョンとありたい未来を共に達成していくことが重要だと感じた。

諫早支部 平湯 湧一

人を生かす経営全国交流会に初めて参加しました。会社において人を生かす経営とは何なのか深く知りたいと考えたからです。4名のリレー報告、1名の問題提起を聞く中で違う認識がうまれました。10年ビジョンの中でどう社員と接するかというより、地域の中でどう会社・社員を育てていくのかに、変化してきました。企業経営を通して、よりよい社会を実現するために、経営者の使命とは何かを学ばせてもらいました。◎働きやすい企業風土をつくる。◎未来が見えるビジョンがある。そのためには「社員の成長こそ、企業の発展」と位置づけこれからの方針としたいと思いました。

グループ討論では11名の参加でしたのでなかなか

深掘りができませんでした。やはり多すぎるのはいけません。全研の参考になりました。地域の担い手としての中小企業の役割を自覚しよりよい社会実現に向けて！のテーマでしたが、やはり給与の現況はどうかか話題になりました。全国市町村所得ランキング2017年では東京都港区が1115万円でトップ、諫早市は274万円で906位、1741位は熊本県球磨村で197万円との報告、この地域格差の中からどう実践していくのか話題が沸騰しました。その中でわが社が目指す理想の姿を明確にする。現在の姿を認識する。そのギャップをこれからどう進めていくのか、これからやらなければならないことだと痛感しました。まずは就業規則が本当に社員本位になっているのから進めていきたいと思いました。

島原支部 北浦 雄一

2日間にわたり「人を生かす経営」と「地域のインフラ」としての中小企業の存在意義について学びました。

1日目は4名によるリレー報告から始まり、総合実践を行っている各社の話は労働環境を考えていく経営の必要性を感じさせられました。社員のやりがい、自立、満足を得られる環境なくしては会社の成長はないと気づかされました。魅力ある企業づくりは地域においても若者の都市圏への流出を食い止め、人口減少の対策にも貢献できる可能性があり、地域にやりがいのある企業が増えることにより、地域が活性化できる可能性を感じました。

2日目で学んだ事として、今回初めて耳にした言葉ですが、中小企業を「地域のインフラ」として位置づけ、地域の基盤を支える中小企業の存在意義、また使命を学びました。地域において雇用を維持し、人が育つ会社づくりを行う。地域の困り事は中小企業にしか対応できない。地域に必要不可欠である事と学びました。

2日間を通して、今後の自社の共有活動、また採用活動に向けて、現状の社員の満足できる環境をつくるのが有効な手段だと感じました。また、全国から集まった会員の意識の高さと、自社の改善に向けた取り組み、また、地域貢献を通じた地域の活性化に向けた取り組みなどディスカッションを通して学ぶことができ、大変有意義な2日間となりました。

佐世保支部 豊福 和明

今回私自身初めての全国規模の行事に「何を学び何を持ち帰り何を実践すべきか」という事を念頭に参加させていただきました。

①佐藤さんの報告では、経営指針づくりを通して10年後の会社を想定した求人活動、そして辿りついた新卒採用の継続。社員一人ひとりが夢・目標を持つことで組織、個人のモチベーションが上がるものでした。当社も経営計画書&発表会の継続を実践し、新卒採用ができるよう取り組んでいきます。②榎本さんの報告では、障がい者の諸問題の現状説明から、今問題

になっている引きこもりの問題。障がいのない環境づくりを企業が取り組み、ひいては地域おこし町づくりを目指す、共に働けるを目指すという大変感動する報告でした。当社も幼老統合ケアを通して、今後さらに働く人が生きがいをもち、地域が安心安全に過ごせるようしくみづくりを拡げていけるヒントをいただきました。③福留さんの報告では、経営指針、共同求人、社員共有の三位一体の継続で会社が大きく変わるという内容でした。これから当社のやらないといけない教科書のように大変有難いものになりました。④田中さんの報告では、ワンマン経営からいかに社員の主体性を引き出すかという報告でした。社員に「私たちの商

品」という自信と誇りが生まれるという目指すべき姿でした。まさに「自立型企业づくり」信じて任せ互いに成長出来る環境づくり、当社もできる事から始めて

いきます。最後に、このような大会にてグループ長を拜命し、さらに学ぶ機会をいただいたことに感謝いたします。

佐世保支部 松尾 慶一

今回も長崎全研のPRをミッションに参加してきましたが、改めて「人を生かす経営」の交流会に初めて参加したことに気がきました。そこで分科会から始まると思っていたのが、今回の様に、リレー方式で全国から4名の経営者に30分ずつ体験報告を行っていただき内容も地域の担い手として経営実践されてこられた報告に、とても新鮮な感じを受けました。

その中で一番驚いたのが、ぜんち共済(株)の榎本さんの話でした。それは、障がいのある方を対象とした少額短期保険を活用していただく事で就労困難者を採用してもらい、そこでの障がい者を取り巻く様々な問題を解決する為に地域の人と連携を取り、障がい者雇用への運動を実践されているという事でした。それらの報告の後、中同協人を生かす経営推進協議会代表の加藤さんの問題提起について10名のグループ討議を2時間行いました。

やはり全国大会は中身が濃い。グループでは「自分自身が地域のインフラだと自覚する」「ビジョン経営を通して数値をオープンに」「中小企業は世に存在する事が大事なのだ」「10年後の有るべき姿をビジョンに書く」「より良い社会実現に向けて自主的に動く」この様に良い意見がいっぱい出ましたが、やはり経営者として、人として自主的に動くことが基本であり一番大切なのだと纏まりました。懇親交流会は全国より



約450名、地元約90名の約540名で盛大に開催されました。そこで長崎同友会28名が壇上に上がり「平成のメは長崎全研ばい」と全国の仲間達にアピールしました。

2日目の田原代表理事の基調報告「豊かな未来をひらく中小企業」に続き松井専任講師の「地域のインフラとしての企業の姿、実践事例」の話をもとにグループ討論を行いました。

これだけ豊かな国なのに幸福感が薄い日本の現状で、中小企業の存在価値を再認識し地域に無くてはならない企業として地域にしかない資源で付加価値を付けたり「地消・地産」でお金の地域内循環を奨め、中小企業の社員さんが出生率2.1にするために付加価値を高め、労働条件を良くしていき、地域に無くてはならない感謝される企業を目指すと決意しました。

佐世保支部 村上 敦子

今回は全国大会では初のグループ長をさせていただきました。まず、グループ長研修についてですが、今回の大会の主旨、そして宮崎同友会が取り組まれているVISION30thについての説明が主でした。グループディスカッションの流れ、内容、落としどころ等については説明不足であった様に感じました。加えて、今回のグループディスカッションのテーマは、幅広いテーマであった為、流れを作るのが難しかったです。全国大会においては、もう少し明確でディスカッションしやすいテーマが良いかと思いました。

グループ長研修の後は昼食でしたが、ビュッフェスタイル形式でしたので、長蛇の列ができておりました。並ぶ時間もったいなかったです。加えて、自分の番になった時には、もうすでにスカスカで、カレーがあと僅か残っているという状態でした。会場もとても暑

かったので、全研の時には、空調が効いている場所でのグループ長研修が良いかと思います。昼食も、お弁当配布の方が効率が良いかと思います。

1日目、リレー方式の報告ですが、とても内容が濃くどれも素晴らしい報告でした。中でも田中さんの商品開発で大切な4つの事 ①自分で値段を決める ②ものまねはしない ③小さく売れて大きく育てる ④相手が本当に欲しいものをつくる、を自社でも実践しようと思いました。

グループディスカッションでは、「人を生かす経営」の総合実践をどのようにすすめていきますか？というテーマのもと、様々な意見が飛び交いました。社員の10年ビジョンが必要である、付加価値が必要である等、意見が出ておりましたが、まとめとしては、経営理念をマニフェスト(公約)とし、経営者自ら理念に基づいた判断・行動を示す事で、経営理念は浸透する。経営理念が浸透するという事は、自ずと人を生かす経

営となるのだという結果となりました。

2日目の基調報告は、全国の事例をご報告いただき、大変勉強になりました。グループディスカッションにおいても、自社の様々な事例、同友会の活動について、

活発な意見が飛び出し、あっという間の60分でした。今回の全国交流会で学んだ事を、実践できるように、日々精進いたします。

佐世保支部 村山 隆之

今回の全国交流会に参加して初めての経験だったが、リレー報告です。4人の報告者のお話が、それぞれ自分の会社に当てはまることはないか、真似できることはないかと言う視点で聞きました。問題提起としての加藤さんの報告「企業経営を通して、よりよい社会を実現するために」は、わかり易くすばらしい内容でした。①「魅力ある企業づくり」 ②「ダイバーシティの発想・取り組みが今こそ重要な時代」 ③「社員の成

長こそ、企業の発展」と位置づけ、社風づくりに取り組む ④人材育成ができない会社に、未来はない等々、このようなすばらしい提言を如何に自社に落とし込むかが重要であると認識しました。

また感心したのがグループ討議です。私も60歳を過ぎ高齢の領域に入りましたが、わが子くらいの年齢の皆さんの熱のある討議には大変感銘を受けました。これからも若い会員さんのエネルギーをいただきに参加せねばと思う「第6回人を生かす経営全国交流会」でした。

事務局 峰 圭太

長野、千葉の交流会に続き、3回目の人を生かす経営全国交流会に参加させていただきました。参加するごとに内容が濃くなり、あらためて人を生かす経営の総合実践が企業をより強靱な体質にすることを学ばせていただきました。

特に今回は「地域のインフラ」としての中小企業の立ち位置を再度学ばせていただき、同友会運動や理念は地域にとって重要な使命を持っていると再認識しました。

4名によるリレー報告、愛知の加藤さんの問題提起を受けたグループディスカッションでは「地域」という概念を共有し、自社が地域の一部であるという自覚を持つことの重要性を共有しました。また同時に、既存の社員や新卒の社員から選ばれる企業づくりのため、経営指針の成文化、就業規則の再整備などを実践し、実践に終わることなくPDCAのサイクルをもっ

て検証することも重要であるということは長崎同友会でも共有できる内容だと感じます。

長崎同友会では今期から共同求人委員会が発足し、共育、経営労働、ダイバーシティと合わせ、4委員会が連動する運動が始まりました。定期的な4委員長会議を開催し、選ばれる企業づくりのため様々な取り組みを本格化していきます。会勢も順調に伸び、来年金研開催を控える中、4委員会だけでなく、他の委員会とも連携しながら企業の専門的課題を解決できる委員会活動を推進していきたいと思えます。

2日目の午後からは中同協の社員教育委員会にも参加させていただき各地の状況を聞くことができました。合同入社式やフォローアップ研修にとどまらず、リーダー研修、幹部研修など様々なコンテンツを持つ他県同友会を参考にさせていただきながら、また長崎同友会らしい共育委員会活動も提案していきたいと思えます。

事務局 田口 友廣

1日目は4名のリレー報告として各社の取り組み・経営体験報告や各地の事例の報告がありました。その後中同協 加藤副会長より問題提起があり、グループディスカッションという流れでしたが、短い時間の中で多くのことが語られ多くの学びがありました。

秋田同友会の佐藤さんからは「社長が押し付けた目標ではなく、本人が立てた目標が大切ということ」、神奈川同友会の榎本さんからは「障がいについて、知らないと見える壁、知ることによって取り去ることができる壁」「障害者等の実習受け入れ企業マップ作成の取り

組み」、鹿児島同友会の福留さんからは「感謝と承認の大切さ」、愛媛同友会の田中さんからは「社員の声を聴くこと、社員に任せることの大切さ」を学びました。

報告全体を通して特に感じたことは、社員の自主性・自立性を発揮することが会社の成長にもつながり、そうした能力を発揮する環境づくりが大切だということでした。

中同協 加藤副会長からの問題提起では、「人手不足」と言っても、欠員の補充と業績アップに伴う募集では理由が違うので、人手不足の内容で議論すべきという指摘があり、ものごとの原因について掘り下げて

考えなければいけないという気付きになりました。また働きやすい企業風土をつくるためには、ダイバーシティの発想・取り組みが今こそ重要という提議もあり、その重要性を改めて確認しました。

2日目には宮崎同友会 田原代表理事より宮崎同友会ビジョンづくりについての報告の中で、地域の課題に中小企業が取り組むことで良い会社づくりができるということには、なるほどと納得しました。ただしそのためには地域の課題を明確に把握しなければならず、今後の課題であると感じました。

次に中同協 松井専任講師の報告では地域のインフラを担う中小企業の実践事例を数多く聞くことができ、その後のグループディスカッションの中でも特に重要だと共有されたことが、「物の豊かさから心の豊かさを求める時代が変わったということ」「企業における地域とは、社員と社員の家族が住んでいる場、会

社が存在している場、お客様がいる場」「地域の困ったことに応えるのが中小企業の役割」「地域に新しい仕事と雇用を作り出し生きる・暮らしを担うこと」でした。

今回2日間を通して、「人を生かす経営」を軸に地域とは何なのか？地域の課題とは？とグループディスカッションを通して学びを深めることができる貴重な機会となりました。

特に「地域の困りごと（課題）」に応えることが、これからの中小企業に求められることであると学びました。

今回学んだことを長崎同友会にどのように持ち帰り落とし込むことができるのかという宿題もいただくことができましたので、今後の会活動に役立てることができるよう実践して参ります。

2018年度 第1回 中同協経営労働委員会 参加報告

開催日：9月14日(金) 会場：宮崎観光ホテル

第1部 報告・協議・審議事項

1. 新年度の委員会体制について

⇒事務局案通り承認

林委員長挨拶

1. 労使見解の理解と実践の推進を
2. 経営指針成文化・実践運動の推進を
3. 企業変革支援プログラムの普及と改訂の推進を
4. 「働く環境のガイドライン」の策定と実践の普及を

以上4項目の提言が行われました

2. 第49回中小企業問題全国研究集会

(長崎)について

⇒事務局より開催内容説明、私から参加依頼の報告

3. 「働く環境づくりのガイドライン」について～試験運用の結果を受けて

⇒結果は同友会が25件、会員企業が84社あまりにも少ない、取り組みができていない

今後は現行を「解説版」、「簡易版」も検討し、普及に努める

4. 「企業変革支援プログラム」について

⇒作成より10年が経過、改訂プロジェクトがスタート予定、ここに関連委員会（4委員会+政策、地球環境、企業連携）が参画、改訂と普及について議論する

5. 次回委員会

⇒2019年1月29日東京にて

6. 問題提起：

労使見解をどのように学び、実践するか

⇒徳島同友会 山城代表理事の報告

徳島は15年連続増強、労使見解が根本で、経営指針実践塾が学びの場

《報告》

今回の委員会が提起したのは

- 1 労使見解の理解と浸透
 - 2 経営指針の成文化と実践
 - 3 企業変革支援プログラムの利用推進
- でありました。

更に、以上のことを委員会活動で如何に推進していくかの道筋を考えるように提案がありました。長崎は全てにおいて他同友会から遅れを取っています。改めて、委員会活動を全支部で行う方法を考えていきたいと思いました。更に、人を生かす経営という視点からまずは4委員会の横断的連携も模索していく必要性を感じました。

全国大会は色々ありますが、この人を生かす経営全国交流会は参加して経営の根幹を考えさせられる大会です。次回は多くの会員の参加を期待します。

(文責 経営労働委員長 宇土 敏郎)

長崎浦上支部 例会報告

日 時	9月21日(金) 18:30～21:00
会 場	長崎新聞文化ホール アストピア
テ ー マ	石油業界の小話 ～忍び寄るパラダイムシフト～
報 告 者	浜本石油(株) 代表取締役 浜本 義文 会員



長崎浦上支部9月例会は、普段私たちが何の気なしに使っている、ガソリンを取り扱う石油業界のことについて、浜本さんに報告していただきました。

原油を輸入し、国内で様々な石油製品を作ることはもちろん、製品によって精製する温度が違うことなど、いつもニュースで石油の卸売り価格のことぐらいしか耳にしない我々にとっては、すごく新鮮な話でした。

今の業界の近況は、電気自動車や、ハイブリッド車などのエコカーの普及、価格競争、設備投資にかかる膨大な費用の負担というマイナス要因の影響で、ガソリンスタンドがピーク時の約半分に減少している厳しい状態だということでした。

しかし、そのような厳しい状況の中、浜本さんは「販売実績は支持率である」の精神で当たり前のことを馬鹿になってコツコツやる（ABC）を実践し、形よりも真

心を伝える商いを続けているとのことでした。

グループディスカッションでは、自分の業界の変化に対する対応について、ITの波が来ているのでうまく使っていないと乗り遅れてしまうというような意見が多く聞かれました。

また、例会の出席者のほとんどが、他社との差別化、お客が求めることへの社員の対応力の重要性を認識した素晴らしい時間を共有することができました。

そして、例会後の懇親会では、キャラバン隊で来られた佐世保支部の方々や3名のゲストと一緒に楽しいお酒を飲み、有意義な時間を過ごしました。

(文責 西本 俊昭)



長崎出島支部 例会報告

日 時	9月26日(水) 18:00～20:30
会 場	サンプリエール
テ ー マ	(株)いろはや創業165年への思い ～小売業のその先の未来へ～
報 告 者	(株)いろはや 代表取締役社長 中山 実津雄 会員(島原支部)

28歳の若さで事業を承継し、1856年に創業した「いろはや」の伝統を残しつつ、新しい業種へ挑戦する姿はとても感銘を受けました。しかしこれまでの道のりは決して安易ではなかったと思います。インターネット販売での大きな借金等様々な苦労がありました。



2017年のアメリカポートランド視察旅行で小売業への考え方が大きく変わります。ここで売る意味、ここで買う価値その思いを胸に九州を長崎をそして島



原を元気にしようという思いから「九州土産いろはや出島店」をオープンしました。中山さんの「ありがとう」、そして「感謝」する大事さがお客様や社員に對

する感謝の気持ちとなって現在の成功に繋がっているのではないのでしょうか。そして子供たちから憧れられるおっさんになることを目標にがんばっています。

中山さんの報告を聞いて事業展開のスマートさを感じました。しかしその中に一本の芯があり、その芯は柔軟かつ強固なもので、絶対に折れないと感じ、そして地域社会に貢献しようとする姿が見えたような気がします。その中に中小企業家同友会が協力出来る部分があると思います。これからの地域社会における企業の役割と感謝の気持ちを考えさせられる実りある例会だったと思います。

(文責 本多 邦暁)

大村支部 例会報告

日 時	9月20日(木) 18:30～21:15
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	11年連続長崎県内リフォーム業 No.1の工務店が実践する社員さんが誇りを持てる会社づくり
報 告 者	(株)中村工務店 代表取締役社長 中村 鉄男 会員 (長崎浦上支部)



迷の時期が続きます。そんな窮地からいかに盛り返したのか？

その後の中村社長の原動力、経営力には敬服します。リフォーム事業セミナーに参加。これだと確信し「すまいるリフォーム」を立ち上げます。立ち上げ当時の1991年から2008年まで借金返済の為、完璧な売上主義の経営でした。2013年、借金は返済し経営は安定しましたが何かスッキリしない中村さん。社員がすぐやめていき、立ち上げ当初の社員は1人しか残っていませんでした。

誰の為に会社を経営しているか？悩む中村さん。立ち上げ当初、売上重視で会社の経営理念は無く、退社する社員から「この会社に魅力を感じない、3年後のビジョンが見えない」と言われ更に悩む中村さん。

そして、我が社に足りない問題点は人材育成と気付き、社長自らマネジメントコーチング研修を受け、人材育成の手法を体得し、社内実践。

社員が働きやすい環境をつくり、社員の意見、やりたいことを積極的に取り入れ、いろんなアイデアを提案させ、社員自ら達成感を得ます。常に、社員とのコミュニケーションを図り経営理念を社員に根付かせました。

社員を大切にすることにより社員がお客様を大切にします。結果、会社の収益性が更に向上、会社は発展し、県内リフォーム業 No. 1 に成長。今日の中村工務店の姿があります。



競争が激しい建築分野にて住宅リフォームに特化した事業を展開。住宅リフォーム売上ランキングにて長崎エリア11年連続No. 1の「すまいるリフォーム」中村工務店。

創業60年、その歴史は先代社長の父から始まります。仕事に対して頑張る自慢の父。その背中を見て育った中村さんの青年時代、父が経営する中村工務店の危機が訪れました。売上減で3億円の負債で倒産。家庭環境が悪化し、どん底の時代を経験。知り合いの焼肉店で焦げた網を洗う父の姿、父の代わりに必死に働く母。この経験を背負い生き抜いた中村さん。

倒産後、再建の道を選んだ父、両親が必死に働いたおかげで大学に進学。卒業後、建設会社に就職。その後実家に帰郷し、中村工務店に入社。しかし低

「社員さんが誇りを持てる会社づくり」

今の業績に満足せずまだまだ会社は目指す志半ばなのでさらに努力を重ねて行くこと、社員を幸せにすることが社長の使命であり、社員が自分の可能性に挑戦

し、喜びに満ちた人生を送る。これを導く中村さんの懐の深さが感じられた今回の御報告、感銘しました。ありがとうございました。

(文責 浦郷 学)

諫早支部 例会報告

日 時	9月19日(水) 17:30～20:00
会 場	長崎ウエスレヤン大学
テ ー マ	社内コミュニケーションの活性化 ～私が、こころがけていること～
報 告 者	(株)九州ガスホールディングス マネジャー 上野 辰一郎 会員



昨今、コミュニケーション能力を学ぶ機会がとても増えています。ということはコミュニケーションというものがとても重要視されていて、その能力が高い人が少ないということだと思います。人との繋がりで多くの事が生み出されるわけですから、当然といえば当然なことです。大切だとはわかっているのに、これまで、それを学ぶための講座等は無かったように思います。なぜでしょうか。

報告の初めに、そのことについて、それは「バブル期が影響しているのでは？」という話をされていました。その時代は、コミュニケーションがなくとも物が



作られ流通していたからだ。とても興味深い話で、そして納得いたしました。要するに、現在はそういうわけにはいかないということです。コミュニケーションがうまく取れなければ色々なことに支障が出てしまう時代なのです。

加えての問題は、今まで必要でなかった物を、意識してやるということは、それがいくら簡単なことだとしても、なかなかやれないということです。ですが、その納得な理由から始まった今回の報告は、その後の内容までとても力強く頭の中に飛び込んできました。そして、変化すべき事を各々が、感じ取ることができたのではないのでしょうか。なかでも明日からでも実践できそうな具体的なコミュニケーションのコツや考え方を頂戴し、大変参考になりました。

ウエスレヤン大学で行われた例会でしたので、学生さんもゲストとして多数参加していたのですが「明日、バイト先で実践します」と語っていたのがとても印象的でした。

(文責 渡邊 享介)

島原支部 例会報告

日 時	9月27日(木) 19:00～21:00
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	ディスカッションのすすめ ～伸びる会社の会議の進め方～
報 告 者	GYARIRU 代表者 北尾 新 会員

今回は北尾さんより、会議やグループディスカッションで、より効率よく意見や質問を集約し、解決策を導き出す為に、ファシリテーションの技法を用いたディスカッションを行いました。



ファシリテーションと、一言でいいましても膨大なノウハウでしたので、「アイスブレイク」という導入



部分に用いられる技術で緊張をほぐし、今回は「問題解決型」の技法に沿って行いました。

冒頭、北尾さんより技法の紹介と活用法の説明があり、その後、テーブルごとで実際に議論を進めながらファシリテーションの技法を学びました。

初めは皆さん戸惑いもあり、半信半疑でしたが、ステップを踏みながら議論を進めて行くと、普段では考えられないほど意見とアイデアが飛び交っていました。

沢山の意見を効果の大小と即効的か遅効的かを、クロッシング形式の表に貼り出して分かりやすく分類し



たのち、会社に取り組んでいく方策を打ち出し、「意思決定」で議論をまとめました。

最も驚いた事は、普段余り自己主張しない方も、多くの意見を提案されていたことと、ユーモア且つ効果的な方策が、様々な角度と視点から投げかけられた点です。

ディスカッションは、やはりより多くの意見を自由闊達に飛び交わせて、最良のアンサーを模索しなければならぬと実感しました。

難しいテーマでしたが、発表者とテーブル長が綿密な打ち合わせとタイムスケジュールを組み上げることで、座礁することなく、実り多く引き締まった例会となりました。

(文責 平野 大介)

佐世保支部 例会報告

日 時	9月25日(火) 19:00～21:00
会 場	アルカス SASEBO 3F 大会議室
テ ー マ	私の履歴書 ～起業1年目の経営者に伝えておきたいこと～
報 告 者	(株)戦略営業コンサルティング 代表取締役 永吉 秀行 会員



序盤は、自己紹介から始まり、同友会入会のきっかけや動機から、保険の営業マンとして、仕事・契約に繋がれば良いという安易な考えから、同友会の学びの中で、自分を見つめ直し、保険の営業という枠に留まらず自己投資を続け、経営者に寄り添い力になりたい

という思いから、自身の会社を起業するに至った経緯を報告していただきました。外資系の大きな保険会社の営業マンという安泰の地位を捨ててまで、独立して自分自身が納得し、関わる人々に喜んでもらえる仕事が見たいという強い思いが伝わる内容であったと思います。

中盤には、独立して立ち上げた会社の概要や取扱の商品・サービスについてプレゼンをしていただきまし



た。経営理念「お客様の人生の豊かさと満足の追求」であったり、顧客を第一に考えるような行動指針の発表であったりと、起業当初より掲げることができるところが事前の準備や常日頃からの入念な計画を形に作り上げたことが伺えました。業種としては、コンサルティングがメインということで、「営業力強化」「確定拠出年金導入」「事業承継対策」「相続(争族)対策」「マネー(投資教育・福利厚生)」など経営者の会員であれば飛びつくような話が多く出てきて、熱心にメモをとる会員が多かったところが印象的でした。

終盤は独立して3か月経過の現状がとても充実し、わくわくした毎日を送っているということや起業1年目の経営者に向けての力強いメッセージをいただきました。最後に今後の展望として1年目、2年目、3年目と緻密な目標を掲げ、実現に向けて努力するというメッセージがありましたが、なんといっても一番印象

的であったのは、来年の2019年8月24日に経営指針発表会を開催することを発表したことではなかったでしょうか。同友会の学びから勤め先を飛び出して起業をされた永吉会員のチャレンジを皆で応援したく

なるそんな報告でした。

(文責 倉科 聡一郎)

北松浦支部 例会報告

日 時	9月20日(木) 18:30～20:30
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	経営者の社内会議の進め方
報 告 者	社会福祉法人西日本福祉会 理事長 宮田 京子 会員 (有)法知園 代表取締役 井手 眞悟 会員



定員総数160名(グループ全体)の利用者様は乾燥シイタケ作り・イワガキの養殖・東京ドーム一個分の農場での農業・オリジナル工芸品の「蘭灯し」作りをされています。佐世保市初の「博福連携」等の取り組みや、工賃をいかに稼ぎ利用者様に還元するか等について、グループ内での様々な会議が非常に重要だそうです。毎月のグループ役員による経営計画会議をはじめ、管理者会議、相談支援会議、工賃会議、年に二回の給食会議等、すべて事前に会議次第を配布し、会議に入るために理解を深めて臨んでもらうそうです。当日は5分前に全員着席。会議後は言いっぱなしにせず、会議録を3営業日以内に作成し、計画調整室に提出し全体に連絡を必ず行います。また、法令順守委員会・虐待防止対策委員会・健康づくり委員会・情報管理委員会・ハラスメント相談委員会と5つの専門委員会があり、上半期と下半期に一回ずつ委員会を開催、女性活躍推進交流会は二カ月に一度全女性職員が交流会を開催するそうです。宮田さんは経営計画会議以外には出席されず、法令順守委員会には外部委員の方をお招きし開催する等、公平性を保つ取り組みも積極的にされています。尚、これら会議や委員会以外に、福祉の森グループでは毎月全体研修会も行っており、二カ月前には実施要綱を決定し、月間目標の達成度報告や各取り組みの状況報告、内部通信の配布を行い全体に周知徹底します。

福祉の森グループ内では、長崎県誰もが働きやすい職場づくり実践企業認定制度の略称「Nピカ」に佐世保市初の4つ星取得や、平成29年度女性活躍推進企業等表彰の大賞を受賞される等、社内会議や委員会活動を通して働きやすい職場づくりを徹底し、結果を出されています。

今回の例会で社内会議の重要性や、例会でのグループ討論におけるグループ長の考え方と重要性について学び、改めて考え直す良い機会となりました。

(文責 上野 健太郎)



今回の例会は、グループ長の考え方・捉え方について、役員研修会の「グループ長研修」を基に、参加者の井手眞悟さんを講師に支部各会員に紹介と、宮田京子さんが「わが社の会議・委員会活動について」というテーマで報告を行いました。

まずは井手眞悟さんが、グループ長研修で自身が再確認した点や気づき等について以下の通り紹介されました。①グループ長は例会の開始前から、グループのメンバーについて情報を事前に下調べしておく。②グループ長は討論を引っ張っていく責任があるので、グループ長としての考え方をしっかりと持つ。③グループ長の進行次第で討論を深く掘り下げることが可能であり、テーマについて理解度の高い人と浅い人をグループ長が確認しながら進行する必要がある。④グループ討論は発言者の発言を「傾聴」する。⑤話しやすい環境をつくりディスカッションの中でメンバーが学び方を学ぶ事も重要。これらにより、メンバーが気づきや学びのおみやげ持ち帰れるようなグループ討論を行う必要があるということでした。

次に宮田さんの「わが社の会議・委員会活動について」実際に社内会議の事例としての報告です。県北の鹿町・江迎・平戸・松浦に障がい者就労支援施設を展開する「福祉の森グループ」の理事長宮田京子さん。

五島支部 例会報告

日 時	9月28日(金) 18:30～21:00
会 場	観光ビル はたなか
テ ー マ	洋菓子店に学ぶ【伝えること】の大切さ
報 告 者	(株)サンミシェル 代表取締役 萩田 実 会員 (長崎出島支部)



9月の例会は出島支部のゲスト4名に参加していただき、合計22名の出席でした。報告者は長崎出島支部の萩田実さん。なんと上五島出身でした。萩田さんについて報告がとても分かりやすいと聞いておりましたが、実際に聞いて見ると大変よく伝わる報告でした。テーマ文中にある【伝えること】をしっかりと意識した内容だったと思います。報告中のスクリーンに映し出されるプレゼン映像も一工夫もあり、お腹が空いてしまう内容です。気になる方は萩田さんを報告者として招いてみてはいかがでしょうか（出来立ての洋菓子のお土産は？と野次がありました。次回の報告に期待）。

どこの大きい会社も同じ事かもしれませんが、萩田さんも長崎県一番の店を目指すために過酷な修行時代を耐え苦勞されたそうです。修行時代は一時期、10名入社しても9名が辞める事もあったそうです。そんな経験を活かして同友会で学んだ事をきっかけに、「お



菓子を作るスタッフ1人ひとりのおかげ」に気づき、スタッフへの年1回の個人面談を始めてから業績をのばされたとの事です。

スタッフも心のある人間です。趣味で参加したいイベントがあっても、仕事が忙しくなかなか参加できなくては転職を考える人もいるかと思います。個人面談をする事で、一人ひとりの生活スタイルに合わせたシフトを組むようにしてから、辞める人が極端に減ったそうです。辞める人が減るという事は教育に費やす時間も浮いて人も育つ。忙しくてもスタッフへの気配りをすれば、結果良い方向に向かうと学びました。

そして忘れてはいけないのは、お菓子を購入されるお客様。ホスピタリティ（接客サービス）の話です。報告の中でよく伝わったのが苺のショートケーキの話です。カードに「苺のショートケーキ」と書かれているものより、「牧島苺のショートケーキ」と書くだけでお客様からみたら、「どんな味がするのだろうか？」と購買意欲が生まれるとの事です。確かに私も説明が多いほうが気になります。少し伝え方に工夫するだけで売り上げが変わってくると話されました。五島支部会員一同、伝えることの大切さについて大変勉強になった報告であると思いました。

(文責 浦上 純人)

青年経営者会 例会報告

日 時	9月27日(木) 19:00～21:00
会 場	七夜月貝津荘
内 容	第二回模擬戦略会議

青年経営者会の9月例会は、初の諫早での開催となりました。7月例会でも行った模擬戦略会議の2回目で、前回まとめた内容である「観光客をターゲットにしたお土産」と「移動販売と福祉サービスの複合オーダー事業」をどういった方法で提供し、ターゲットを絞るかという具体的な内容を詰めました。



2班に分かれ、それぞれの戦略を練りましたが、内

容が濃くなるにつれなかなかうまくまとまらない点も発生したりし、各班とも白熱した議論を展開しました。最終的には結論を導き出せた班と、中途半端にまとまった班となりましたが、例会終了後の懇親会でも例会の延長戦となり大変熱い夜となりました。

安井会長のもと、青年経営者会の会員数が約60名となり、今までにない意見や考えを垣間見ることができた今例会は、これからもっと青年経営者会が活性化していくのではないかと思える大変盛り上がった例会となりました。

(文責 長崎浦上支部 吉川 裕也)



2018年度 役員研修会 参加報告

開催日時：9月8日(土) 13:30～17:45 会場：サンプリエール

報告者①：宇土 敏郎 会員(経営労働委員長) 報告テーマ：労使見解を学ぶ

報告者②：松尾 慶一 会員(第49回 中小企業問題全国研究集会実行委員長)

報告テーマ：中小企業問題全国研究集会 in 長崎の開催意義(同友会の歴史・理念を基に)

報告者③：山領 進 会員(副代表理事) 報告テーマ：グループ長研修



2月に開催予定の中小企業問題全国研究集会を成功させるために、役員研修会が開催されました。まずは経営労働委員長の宇土さんによる「労使見解を学ぶ」20分です。中同協発行の冊子「人を生かす経営」のポイントをシンプルにわかりやすく解説されました。途中、聞くだけでなく参加者に朗読させるスタイルは斬新で面白かったです。

続いて全研実行委員長の松尾さんによる「全研開催意義」についての報告が20分間ありました。同友会増強の歴史や、スライドによる他県全研おもてなしの様子など、全研の雰囲気がとてもよく伝わってきました。

続いて副代表理事の山領さんによる「グループ長研修」の報告30分です。グループディスカッションとは、より理解を深めること、学び方を学ぶことである、ということ学びました。

休憩をはさんで、初の試み?「模擬グループディスカッション」です。これは、あらかじめ台本があるストーリーを例会委員会で役者を決めて、ディスカッショ

ンしている様子を取り囲んで見学するというものです。場面ごとにストップして解説が入りましたので、グループ長の役割がリアルによく理解できました。特に、聞き方や、最後のまとめかたが参考になりました。

その後、グループメンバーを変更しながら2度のディスカッションを行い、これまで未経験の会員さんも積極的に挑戦されていました。

最後に副代表理事の中村さんが、「みなさん楽しそうでしたね。不安も自信につながって、今日もラッキー!各支部への落とし込みをお願いします」と締められました。この研修会は、もっとたくさんの会員さんに体験していただきたいので、県南、県央、県北でもぜひ開催していただきたいと思いました。例会委員会の役者の皆様、綿密な準備まことにありがとうございました。

(文責 財務委員長 上野 辰一郎)



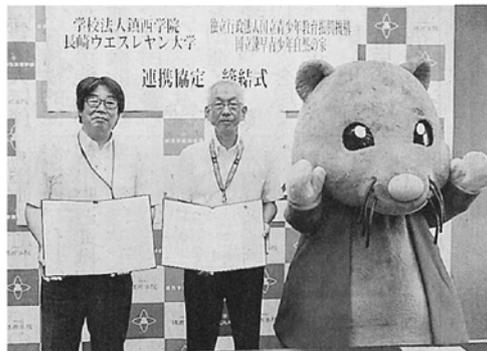
会員活躍

長崎新聞 9月4日

諫早支部 佐藤 快信 会員

青少年教育の推進で連携

長崎ウエスレヤン大と諫早・自然の家



協定書を交わした（左から）佐藤学長と内山所長
＝諫早市、長崎ウエスレヤン大

国内外交流の拠点を目指す

諫早市の長崎ウエスレヤン大と国立諫早青少年自然の家は、国内外の青少年教育を進める連携協力協定を締結した。同自然の家を活用したモデル研修プログラムを国内外の教育機関などに発信し、青少年交流の拠点化を目指す。

1978年設立の同自然の家が、他の教育機関と協定を結ぶのは初めて。同大は県内自治体や企業などと積極的に協定を結び、産学官による地域振興を進めている。

西栄田町の同大で8月28日に行った締結式で、同自然の家の内山祐二郎所長は「相互の機能をさらに生かし、地域に貢献したい」、同大の佐藤快信学長は「宿泊施設や多彩な研修メニューを備えた自然の家と連携することで、海外大学からの短期研修プログラムの増加が期待される」と述べた。両者は今後、香港の嶺南大の短期研修（来年1月）や中国・上海の小中学生の旅行誘致などを進める予定。（高比良由紀）

長崎新聞 9月27日

北松浦支部 熊屋 誠一郎 会員

長崎新聞 9月28日

佐世保支部 中島 雄一 会員

佐世保から世界へ

工業企業「技術力」

新たな種類やイメージは続々と広がっている。やがて父のつながつて唯一無二の形をつくり出す。命を吹き込んだ製造装置は、私たちの営みを支えている。

工場に製造部品がこみ詰められ、滑り滑り動くコネクター、洗濯槽のような機具、長方形の容器。大きな形状、素材など一つとして同じものはない。巨大なものは長さ約40センチ、幅約10センチ。基本設計の部品製造、溶接機加工、組み立て、検査までほとんどの工程を一貫して受ける態勢を整えている。

発想や挑戦 かたちに

富士商工



組み立てられる製鉄所向けの生産設備＝佐世保市広田4丁目、富士商工（山下哲朗撮影）



産業物理研究所のシミュレーション

佐世保市広田4丁目。1951年6月に中島二男氏が設立した。中島洋一代表取締役社長は4代目。従業員は84人（8月現在）。主な取引先は日鉄住金レールウエテクノス、ジェイエイ北九州くみあい卸料、不二越、黒崎播磨、日立造船、産機エンジニアリングなど。

1951年に中島二男氏が設立。佐世保重工（SSK）の下請りとして船舶の修理などに従っていた。しかし造船不況に伴い、100%依存していたSSK

からの受注が減少。経営の機変更に加え、顧客の細かい希望や挑戦的な試作にも対応した「単品生産」が可能になった。「開発的な要素を含んだ装置を造っている。代表取締役社長の中島洋一氏（88）の静かな口ぶりに、力がこもった。

受注実績には、日本社会の「これまで」とこれからの「これから」が投影されている。国内の大動脈となった新幹線の台車・車輪の検査装置も、のつりの現場は分業化。専門化が進む。一貫生産は受注量の波が大きく不安定な面もあるが、あえてそこにこだわる。「技術力」は上がり、社内で作る部品一つにも付加価値がある。

一貫受注で製造装置を単品生産

環境汚染が問題化したPCB（ポリ塩化ビフェニール）の処理設備。廃棄物処理設備などだ。次世代のクリーンエネルギーとして注目されている。水素エネルギー供給システムの技術開発にも協力している。

国内大手メーカー・教社との事実上のOEM（相手先ブランドによる生産）も盛んだ。手掛けた産業機械は、東南アジアや欧米でも活躍している。

ものつりの現場は分業化。専門化が進む。一貫生産は受注量の波が大きく不安定な面もあるが、あえてそこにこだわる。「技術力」は上がり、社内で作る部品一つにも付加価値がある。

時代の要請は刻々と、複雑に変化している。今日も理想を形にする探求は続く。

（西村伸明）
随時掲載します

ふるさと経済 ECONOMY

熊屋

専務 熊屋 誠一郎さん(34)

平戸市魚の棚町

食べる人を幸せにするお菓子作りを1762年の創業時から追求してきました。今後も地元の人に愛される店であることはもちろん、海外へのアピールも強

幸せにするお菓子追求

化し、一人でも多くの人に平戸の存在を知ってもらえるように頑張ります。

原料の餅つきから整形まですべて手作りにこだわった「牛蒡餅」（6個人入り）470円が人気。平戸では冠婚葬祭時のお配り菓子として定着しています。「魅まんじゅう」（1個130円）はもちもちした食感とすっきりした甘さのあんが好評。東彼東彼町の茶業者と共同開発した緑茶のゼリー「沢野を駆ける風」（1個270円）も土日限定で販売しています。

県内への発送可。営業時間 午前8時半～午後7時 日曜祝日午後6時まで。不定休。電話0955・0222・2046。（佐藤武郎）

事務局企業訪問

今回は長崎浦上支部 木村 操さん（(株)ダンレイ 長崎支店）にお話しを伺いました。



<ダンレイ>

1941年に長崎市で木村さんの父親が冷凍冷蔵諸冷凍機器販売を目的に(有)木村冷凍工業所を設立。その後エアコン部門の販売・設計・施工を開始。また熊本にて事業展開を行い、売上が大きく伸びたことで1960年に本社を熊本に移し、長崎市に支店をおきます。現在は空調の工事・修理・補修を主体に衛生設備や土木・電気・水道の工事を行っています。1990年に事業内容が分かりやすく伝わる社名にしようということで、暖房の「暖」と冷房の「冷」から「ダンレイ」に変更しました。この社名は木村さんが考えられました。

<入社>

木村さんには兄が2人いたため、会社を継ぐことは考えず東京の大学に進学、港湾運送関連の会社に就職。しかしダンレイが業務多忙、また父親が体調を崩したこともあって、会社を守らなければという思いで24歳の時にダンレイに入社。そこから7年間熊本に勤務、31歳の時に長崎支店に移ります。

<理念・技術者集団として>

木村さんは1986年4月 同友会に入会、その後経営理念の策定に取り組みました。

【経営理念】

ダンレイは快適な環境を提供します。
私達はプロの知識と能力を十分に発揮して
業界におけるNo.1、オンリーワンを目指し
お客様の生活環境レベルを上げることで
地域社会に本当に必要とされる会社になります。
以上の実現で自分の存在と人生の夢を実現します。

理念は今も変わらず、毎日朝礼で唱和をしています。



また技術者・営業共に自分なりのテーマを設定し、日々仕事のレベルアップに努めることで業績を伸ばし、その技術は長崎市より2016年度・2017年度と2年連続で長崎市最優秀工事施工者として表彰をされています。

社屋には飾りきれないほどの資格者証や許可証があり（写真参照）、社員の方の技術力の高さが一目で分かりました。資格取得に関しては資格がなければ仕事ができないということもありますが、誰かが資格を取れば自分も取りたいと思う風土がダンレイにはできているということでした。

こうした高い技術を提供することで、お客様から「ありがとうございます」と言われる仕事をしていきたいと木村さんが言われたことが印象的でした。

【今後の展望として】

木村さんが仕事に取り組むモチベーションとして「会社を潰したくない」という気持ちが入社当時と変わらずあり、その根底には社員が一生懸命に仕事してくれるおかげで、お客様が認めてくれる。自社をしっかりとすることで社員やその生活を守らなければとの思いがありました。

以前の目標は100年企業でしたが、100年まであと23年となりました。現在20歳の社員は23年後は43歳で働き盛り、まだまだ先もある。そう考えた時に120年まで考えなければいけないと感じたそうです。そこで木村さんは120年を見据え、当面の間は今の社屋に手を入れなくてもいいようにと改装を実施し、先日終えたばかりということでした。

【企業訪問を通して】

今回お話しをお伺いして印象深かったのが、「経営者の判断として、『社員は望んでいるのか』と相手の立場に立って考えることが大切ということでした。例えば、経営計画書で自社ビルを建てたいと言っても、事業計画の中で本当に必要であればいいが、ただ単に自社ビルが欲しいということであれば、お金も相当かかり、それは社員の給与にも関係することにもなる。そうすると社員は本当に自社ビルを建てることを望んでいるのかと考えることが必要。」と木村さんはおっしゃいました。

今回の企業訪問を通して様々な出来事・実践事例をお話しいただく中には、社員を家族のように思い、その社員を守ろうという木村さんの気持ちがあり、感銘を受けました。きっと木村さんの気持ちや社員の方を思っの取り組みが社員の方にも伝わり、高い技術を



持ち自主的に学ぼうとする社内風土が醸成されたのではと今回の企業訪問を受け感じました。

今回は貴重なお時間いただきありがとうございます。これからの木村さんの活躍を祈念いたします。

<会社概要>

(株)ダンレイ 長崎支店

住所：〒850-0012 長崎市本河内3丁目6-37

TEL：095-821-0224 FAX：095-821-0226

ダンレイ中央さんのTVCMができました。右のQRコードからぜひご覧ください。



(文責 田口 友廣)

新入会員の皆さんです <9月入会・交代・復会> (敬称略)

<入会>

支部名	長崎出島支部		
氏名	おだ みすず 小田 美鈴		
企業名	山一商事(株)		
役職名	専務取締役		
企業住所	長崎市		
TEL	095-865-2062	FAX	095-865-2255
業種	ドローンスクール		
企業PR	ドローンによる操縦を安全に出来るように指導を行い、法律の知識を深め、今後の事業へのドローン活躍を期待し、スクールを行っています。		
スポンサー	安井 忠行		



支部名	大村支部		
氏名	きのした さなえ 木下 紗菜栄		
企業名	(有)トップウォータメイツスイムクラブ		
役職名			
企業住所	〒856-0806 大村市富の原2丁目318		
TEL	0957-55-0450	FAX	0957-55-5003
業種	サービス業(スイミングスクール)		
企業PR	0歳からいくつになっても！楽しく健康に学べるスイミングスクールです。子どもたちには心も体も強い子をスローガンに地域の人と働く人が笑顔になる施設でありつづけたと思っています。		
スポンサー	宮崎 洋輔		



支部名	長崎出島支部		
氏名	やまぐち けんたろう 山口 健太郎		
企業名	未来クリエイイトジャパン(株)		
役職名	代表取締役		
企業住所	〒851-2105 西彼杵郡時津町浦郷308-1		
TEL	095-801-5537	FAX	095-801-5538
業種	結婚相談所・飲食業		
企業PR	長崎の未婚率UP!!のため、そして長崎の人口UP!!のため、本気で結婚したい方のお手伝いを全力投球でいたします。カフェ感覚で気軽に越しいただける結婚相談所です。		
スポンサー	加瀬 和利		



支部名	大村支部		
氏名	くぼ こうじ 久保 誠司		
企業名	(株)WORK・MARKETING		
役職名	経営責任者		
企業住所	〒856-0024 大村市諏訪2丁目507-51		
TEL	0957-52-7080	FAX	0957-52-7080
業種	船舶造修業		
企業PR	(株)WORK・MARKETINGは、様々な船舶造船・修繕・発電所プラント建設に携わり柔軟な対応力と技術をお客様に提供しています。弊社とお仕事をして頂ける協力会社様を募集中です。		
スポンサー	宮崎 洋輔		



V・ファーレン長崎



応援マット

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員(長崎出島支部)

広告募集

<4cm x 9cm>

複数月	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
割引	3ヶ月	6,000 → 5,000

支 部 名	大村支部			
氏 名	しばた ゆきひろ 柴田 幸広			
企 業 名	県央大村青果(株)			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒856-0828 大村市杭出津1丁目840-3			
T E L	0957-53-1161	F A X		0957-52-4861
業 種	青果卸売業			
企 業 PR	安心、安全、新鮮な青果物を市民のみなさまの食卓に潤沢にお届けできるよう早朝より頑張っている会社です。			
スポンサー	徳田 信義			

支 部 名	大村支部			
氏 名	もとざわ たかし 本澤 崇			
企 業 名	(株)本澤崇設計事務所			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒856-0811 大村市原口町1155			
T E L	0957-56-8282	F A X		0957-56-8283
業 種	建築設計・監理			
企 業 PR	建築設計、住宅診断、こどもかく、多角的に建築に取り組んでおります。			
スポンサー	野中 哲也			

支 部 名	大村支部			
氏 名	つつみ やすひろ 堤 康博			
企 業 名	(福)とみのはら福祉会			
役 職 名	統括本部長			
企 業 住 所	〒856-0806 大村市富の原2-84-3			
T E L	0957-55-3357	F A X		0957-47-5354
業 種	福祉事業			
企 業 PR	私達は「子ども」「高齢者」「地域」の三者が響き合って共に生きる社会作りのお手伝いをいたします。			
スポンサー	細名 久			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	いちき ゆうと 市来 勇人			
企 業 名	(株)FUTURE CITY			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙323-2-2			
T E L	0957-60-4225	F A X		0957-60-4225
業 種	宿泊・飲食業			
企 業 PR	「地域発の日本づくり」 地域ビジネスのモデルケースを確立させ、日本の未来を地域から創造する会社です。 <運営店舗> ・島原半島初のゲストハウス「TSUDOI guest house」 ・がまだすドーム内カフェ&ショップ「カタコトmarché & café」			
スポンサー	本多 勝雄			

支 部 名	大村支部			
氏 名	にし たかふみ 西 貴史			
企 業 名	まつばや百貨店(株)			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒856-0814 大村市松並2-894			
T E L	070-6459-2116	F A X		
業 種	百貨店事業			
企 業 PR	①通信、スマホ、携帯電話どこまでも安くします。第3種通信免許とりました！自社ブランドも作れます！ ②物販、インド市場も狙えます！越境EC、ワールドECへ出展、出品。 ③プロモーション、長崎駅前3分のレンタルオフィス、レンタル会議室、コワーキングスペース有！HP作成、アプリ作成、資金調達、クラウドファンディング、MA、スタッフ研修お任せ下さい！			
スポンサー	時 忠之			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	さとう やすひろ 佐藤 康博			
企 業 名	(有)佐藤鉄工所			
役 職 名	専務			
企 業 住 所	〒854-0126 諫早市松里町1639			
T E L	0957-35-2226	F A X		0957-35-2590
業 種	重軽量鉄骨工事業			
企 業 PR	建築工事以外でも鉄に関するものは対応させていただきます。			
スポンサー	松田 卓			

支 部 名	大村支部			
氏 名	ますだ しゅんいち 増田 俊一			
企 業 名	ポップ折込広告企画			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒856-0825 大村市西三城町17-1 岸川ビル1F			
T E L	0957-54-9328	F A X		0957-54-9349
業 種	広告代理店			
企 業 PR	平成14年創業、県内を中心に新聞折込チラシの企画・製作を行っております。他にも、パンフレット、リーフレット、ポスター、パネル施工等のオリジナルデザインを活かした印刷物を提供させていただいております。			
スポンサー	林田 雅博			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	ひろせ かずたか 廣瀬 一孝			
企 業 名	ライフナビパートナーズ(株)			
役 職 名				
企 業 住 所	〒850-0028 長崎市勝山町37 長崎勝山37ビル5F			
T E L	050-3158-5084	F A X		095-826-0103
業 種	保険媒介代理業			
企 業 PR	「行き先は、あなたが夢見た未来。」をスローガンに2015年4月1日、ライフナビパートナーズ(株)は誕生いたしました。特定の保険会社に縛られず、お客さまのご意向に沿った上で考えられる最適なお提案ができます。お仕事のこと、お子さまの教育のこと、マイホームの夢等々、保険に限らずどんなことでもお気軽に私にご相談ください。持ち前の行動力と人脈、そして柔軟な発想で、保険や金融以外のことでもいっしょに解決策を考えさせていただきます。			
スポンサー	張本 優子・山口 大輔			

支 部 名	諫早支部		
氏 名	もり まさのぶ 森 優伸		
企 業 名	社会保険労務士事務所オフィスマリ		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒854-0022 諫早市幸町4-29		
T E L	0957-24-3238	F A X	0957-24-3238
業 種	社会保険労務士		
企 業 PR	労基署やハローワーク、年金事務所へ提出する書類の作成・提出はもとより、会社からの様々な労務相談を受ける中で経営者様の立場に寄り添った回答を心掛けています。今後も信頼される回答、アドバイスができますよう精進していきたいと思えます。		
スポンサー	寺尾 昌晃		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	さいた なおき 齋田 直喜		
企 業 名	(株)九十九島産業		
役 職 名	取締役本部長		
企 業 住 所	〒859-6204 佐世保市鹿町町下歌ヶ浦 946-9		
T E L	0956-80-3750	F A X	0956-80-3749
業 種	福祉・加工品の製造販売		
スポンサー	宮田 京子		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	うちはし いつろう 内橋 逸郎		
企 業 名	(有)内橋商店		
役 職 名	取締役		
企 業 住 所	〒857-0875 佐世保市下京町8-25		
T E L	0956-24-8727	F A X	
業 種	飲食業		
企 業 PR	元気で丁寧な接客を心がけ、焼鳥、一品料理、お酒にこだわりを持って営業しております。		
スポンサー	山口 富士雄		

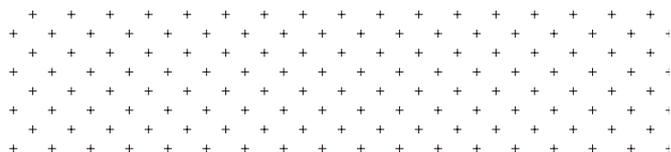
支 部 名	佐世保支部		
氏 名	さかみ しんいちろう 酒見 慎一郎		
企 業 名	クオリム(株)		
役 職 名	代表取締役社長		
企 業 住 所	〒857-0875 佐世保市下京町4-4 ささいずみ3F		
T E L	0956-59-5539	F A X	0956-23-6553
業 種	飲食業		
企 業 PR	美味しい佐世保のイカを食べに来て下さい。		
スポンサー	直江 弘明		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	くすもと さとし 楠本 聡		
企 業 名	楠本聡土地家屋調査士事務所		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒857-0043 佐世保市大瀨町289-204-2F		
T E L	090-7923-0894	F A X	0956-47-5266
業 種	土地家屋調査士業		
企 業 PR	土地、建物の不動産登記申請の代理業務を行っております。皆様の財産であられる土地、建物を登記に正確に反映するお手伝いをさせていただきます。		
スポンサー	横田 耕詞		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	にしかわ すみのり 西川 末則		
企 業 名	西川ラジコン映像企画		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒857-0401 佐世保市小佐々町黒石169-30		
T E L	090-4355-9750	F A X	
業 種	空撮・動画編集(4K)		
スポンサー	川下 眞文		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	くすもと ただし 楠本 忠		
企 業 名	楠本木工所		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒858-0921 佐世保市長坂町699		
T E L	0956-28-6247	F A X	0956-28-6247
業 種	木製建具製造業		
企 業 PR	創業25年、工務店さんへの対応を中心に丁寧な仕事を心掛けています。住宅や店舗に使用する木製建具等ご要望ください。		
スポンサー	川下 眞文		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	やまもと せいいち 山本 成一		
企 業 名	西日本新聞エリアセンター相浦		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒858-0923 佐世保市日野町880-6		
T E L	0956-28-3386	F A X	0956-28-4053
業 種	新聞販売		
企 業 PR	当社では、新聞販売を通じて地域密着型の信頼され愛されるお店を目指しております。活字離れと言われる昨今ですが一人でも多くの読者に満足を提供していきますのでご紹介あれば、ぜひよろしくお願い致します。		
スポンサー	佐藤 安司		



支 部 名	五島支部			
氏 名	しおづか ゆうき 塩塚 勇気			
企 業 名	NPO法人 ふくえ			
役 職 名	事務補佐・英会話代表			
企 業 住 所	〒853-0005 五島市末広町1-10			
T E L	080-2694-5804	F A X		
業 種	訪問看護・英会話			
企 業 PR	楽しく身につく英会話をモットーに様々なレクレーションを取り入れたレッスンを提供しております。			
スポンサー	山本 一徳			

< 交 代 >

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	なかむら よういちろう 中村 陽一郎			
企 業 名	(株)セントラルホテル佐世保			
役 職 名	代表取締役社長			
企 業 住 所	〒857-0872 佐世保市上京町3-2			
T E L	0956-25-0001	F A X		0956-22-8435
業 種	ホテル業			
企 業 PR	佐世保の中心にあるビジネスに観光に便利なホテル。御料理は地元の方にも宿泊者にも人気。			
スポンサー	松尾 慶一			

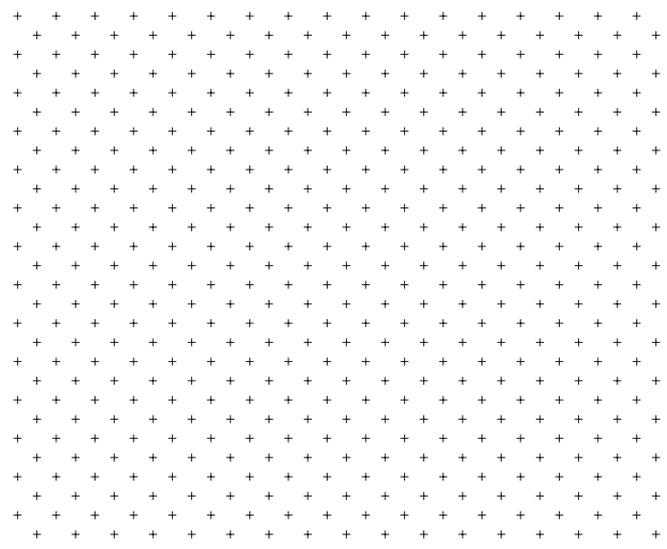
支 部 名	佐世保支部			
氏 名	むらかみ しょうじ 村上 庄司			
企 業 名	(株)クリーンマット			
役 職 名	佐世保営業所 所長			
企 業 住 所	〒857-1162 佐世保市卸本町16-2			
T E L	0956-32-8488	F A X		0956-31-8000
業 種	環境美化用品レンタル・販売・ビルメンテナンス			
企 業 PR	弊社はお客様より「クリーンマットに任せておいて良かった」と感じていただける事を第一に考え、商品知識だけではなく社員ひとりひとりの「人間力の向上」を通して「究極のサービス」をご提案させていただく姿勢が重要と考えています。常にお客様への心の通ったサービスが出来るかを常に考え行動し、感謝の心を忘れる事無く日々精進していきたくと思っています。			
スポンサー	松尾 慶一			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	よしだ さだゆき 吉田 貞行			
企 業 名	(株)西海福祉の森			
役 職 名	取締役事務局長			
企 業 住 所	〒859-6125 佐世保市江迎町三浦10-7			
T E L	0956-65-3175	F A X		0956-65-3170
業 種	福祉			
前 会 員	渡邊 毅			

< 復 会 >

支 部 名	大村支部			
氏 名	ひらの たびと 平野 旅人			
企 業 名	司法書士・土地家屋調査士・行政書士 平野旅人総合事務所			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒856-0828 大村市杭出津3丁目395-7			
T E L	0957-46-6133	F A X		0957-46-6134
業 種	司法書士・土地家屋調査士・行政書士			
企 業 PR	不動産の登記、会社、法人の登記、相続等のことならお気軽にご相談下さい。			
スポンサー	野島 敏史			

支 部 名	五島支部			
氏 名	まつい さちこ 松井 幸子			
企 業 名	DOLA AZ Bliss			
役 職 名	ショップオーナー			
企 業 住 所	〒853-0064 五島市三尾野1丁目4-1			
T E L	0959-72-3774	F A X		0959-72-3774
業 種	化粧品販売・エステ			
企 業 PR	オリコン・フライダルエステ満足度第1位のエステからベストコスメを多数受賞したPOLAの商品を取り揃え、癒しのひと時を過ごしていただけるお店です。			
スポンサー	山本 一徳			



投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどで紹介下さい。

●文字数/約 500 字

●画像/歓迎します

掲載/情報広報委員会にて選考

投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



10月理事会 報告

10月4日(木) つくば倶楽部 出席25名 欠席6名

開会あいさつ (抜粋) - 金井代表理事

10月2日に第2回幹事会に参加してきました。全国5万名達成に向けて、グループディスカッションもありました。全国の会勢については、現在期首よりマイナスです。その中で9月の2桁増は広島と長崎だけでした。対組織率も全国で7番目、e.doyuの使用率は61.7%で全国1位。ありがとうございます、皆さまのおかげで良い幹事会でした。この流れを理事の皆さんには引き続き、推し進め、ますます発展していただきたいと思えます。

仲間づくりについて

- 1) 入会・復会・企業変更・退会について
- 2名の入会、1名の復会、2名の企業変更、3名の退会を承認
- 2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について
金井代表理事(抜粋) - 長崎同友会設立記念日である11月14日の仲間づくりの日に向け、750名は達成して欲しいと思えました。頑張りましょう。

協議・承認事項

- 1) 長崎新聞元日号 トップインタビュー掲載について - 山口専務理事(三役会案)
 - ① 3回目。全研開催のアピールと仲間づくりに向けて金井代表理事に思いを語っていただく
 - ② 今後継続して掲載する
 ※三役会案を承認。
- 2) 賀詞交歓会について(2019年1月15日(火)) - 山田事務局長(三役会案)
 - ・ 会場：ホテルニュー長崎
 - ・ 流れ：ほぼ例年通り
 - ・ 席割：着座
 - ・ アピール：全研キャラバンならびに長崎担当2分科会の内容と報告者を紹介
 ※三役会案を承認。
- 3) 来期に向けて
 - ① 来期代表理事について - 松尾役員選考委員長(理事会前に役員選考委員会を開催)
第1回役員選考委員会を開催し、金井代表理事が来期の代表理事として推薦されたことを報告
※金井政春会員を来期の代表理事として来期総会に上程することを承認
 - ② 第48回定時総会について - 山田事務局長(三役会案)
 - ・ 開催日：4月19日(金)
 - ・ 開催場所：今後、県央地区での開催を提案(多くの会員の皆さんに参加していただくために)
 ※三役会案を承認

報告・連絡事項

- 1) 10月2日(火) 中同協幹事会報告 - 金井代表理事・山田事務局長・全研分科会報告者確定
- 2) 9月 県本部・支部・委員会等の活動状況について
《委員会等》

例会	9月20日(木)北松浦支部例会に合わせて開催予定であった第5回例会委員会ですが、10月12日(金)に延期しました。
経営労働	1) 経営指針実践セミナー2018の開催 県主催 9/15 No.3開催 12名参加/20名申込 島原 9/11 No.1開催 6名参加/7名申込 北松浦 9/18 松浦、9/25 平戸にて説明会開催 2) その他 9/14 宮崎で 中同協経営労働委員会No.2 開催 1. 労使見解の理解と実践の推進 2. 経営指針成文化と実践運動の推進 3. 企業変革支援プログラムの普及と改訂の推進 4. 「働く環境のガイドライン」の策定と実践の普及が提起

	された。今後の活動については、10月開催の委員会 で報告する
共育	・ 合同入社式 4月開催済 ・ 新入社員向け研修 第2回まで開催済み ・ リーダシップ研修 第1回開催済 予定通り実行中です。 ・ 一般会員向け研修は他の企画等の日程の関係もあるので、内容・開催の有無も含めて検討中。
政策	■ 長崎県景況調査(企業ヒアリング調査)について 8/24から開始した長崎大学との協働での上記調査が、9/27を以て県内31社訪問を終えました。ご協力いただいた企業すべての皆様に感謝申し上げます。以降、報告書としてまとめ皆様へお伝えします。 ■ その他 ・ 9/13~14 「人を生かす経営全国大会 in 宮崎」に参加 ・ 9/25 第6回ビジョン委員会に参加(政策委員会第5次ビジョン(案)決定)
情報広報	9月18日(火)19時~同友会事務局にて委員会を開催。 1. 広報誌 編集会議 【巻頭】 ・ 10月号→第6回 人を生かす経営全国交流会(宮崎) ・ 11月号→支部報告 他候補→共育幹部研修 別冊→第25回経営フォーラム in SASEBO ・ 12月号→第46回 青年経営者全国交流会(沖縄) ・ 1月号→代表理事 新年挨拶 【5次ビジョン草案について】 5案中から3案を情報広報委員会の第5次ビジョンとして決定の再確認 ・ e.doyu登録者の全会員がe.doyuを活発に活用している。 ・ 報道機関との関係が強化されている。 ・ 充実した広報誌が発行されている。 ※第4次ビジョンについては次回以降の委員会にて再度検証行う 2. ホームページについて 4月議事録振返りを踏まえて ・ 現ホームページを活用し、足りないところが有れば追加修正行う。 ・ 経営フォーラム、全研のリンクを貼る。 ・ 県委員会活動報告について再度促す 3. e.doyu利用 ・ 利用率は61パーセントに推移している(前は59%) ・ 自主返信率の向上→自主的な登録の呼び掛けを行う。 4. その他・情報交換 (理事会当日の補足) 10月1日よりe.doyuのモバイル版が出欠回答とスケジュールで実装されました。アンケートの回答と掲示板の閲覧に関しては、来年1月の実装予定です。
仲間づくり	11月14日の第2回目となる仲間づくりの日を成功させるべく、各支部の取組について意見交換をしていきたいと考えております。
ビジョン	9月25日(火)第6回委員会を開催。 ・ 時政策委員長・浦郷情報広報委員長にご出席いただき、両委員会の第5次ビジョンについて協議を行い決定。 第5次ビジョン確定 <政策委員会> ① 中小企業憲章・中小企業振興基本条例の意義及び役割を、全会員が理解している。 ② 県内各自治体に中小企業振興基本条例が策定され、振興会議が運営されている。 ③ 同友会活動を通じて地域で取り組むべき経営課題の解決策を、各自治体へ政策提言をしている。 <情報広報委員会> ① e.doyu登録者の全会員がe.doyuを有効かつ活発に活用している。 ② 報道機関との関係が強化されている。 ③ 充実した広報誌が発行されている。 ④ 同友会活動を会外に向けても情報発信している ・ 5次ビジョン到達への「8つの柱」について、下記の7番目の柱とその補足について協議し、原文のまま決定。

→県と支部による一貫性をもった委員会活動が行われ、かつ、時代の流れに即した新たな委員会が設置されている。
(全委員会)
・第5次ビジョン確定の委員会へ配信する「4次ビジョン進捗アンケート」の修正点を確認。12月10日までに提出していただき、検証を行う。

ダイバーシティ

・9月13・14日(木、金)「人を生かす経営」14日 中同協障害者問題委員会
・10月2日(火)例会シミュレーション、委員会開催
・11月13日(火)第11回例会開催 サンプルエールにて「私たち障がい者雇用をはじめました!!」
(報告者 野中会員(大村支部)、下釜会員(長崎出島支部))
・2月21・22日(木・金) 全研第6分科会担当(報告者は中村こずえ副代表理事、委員長菅原)
・3月 全研分科会の反省会、勉強会予定

共同求人

9月22日:経営フォーラム第1分科会シミュレーション開催 宮崎より報告者の阿萬英一朗会員にお越しいたごき、佐世保市で開催。
9月決定事項
11月22日:島原支部例会にて、共同求人委員会主催の例会開催
12月:佐世保支部忘年例会にて、共同求人委員会主催の例会開催
1月:長崎浦上支部・出島支部合同例会にて、共同求人委員会主催の例会開催
各支部における共同求人委員会の流布活動において、各支部の皆様のご協力により、毎月の例会開催が実現。
来期前半までに、残りの大村支部、北松浦支部、五島支部での開催もぜひお願いしたい。

青年経営者会

・9/27 9月例会を初の諫早開催となる時会員の七夜月で開催。2回目の「模擬経営戦略会議」を行い、大いに盛り上がりました。一人一人がやりたかった事業や夢、目標などを語り、その模擬事業を元に戦略を語り合う中に日頃の自社の見落としていた点や新たな気づきや学びがあったと思います。懇親会も盛り上がり次回に弾みがつく例会となりました。
・10月は経営フォーラム、更に11月は2月全研キャラバンを合わせ、青全交(11月28、29日)に関連づけた、11月28日沖繩での長崎青年経営者会35周年記念懇親総会を開催。他県青年部や青全交に参加される長崎県同友会の幹部の皆様にも是非ご参加をと考えております。また35周年記念事業の一部として長崎青経独自の「襟章」を作成。記念懇親総会の席上、青経会員の皆様に配布予定です。
・全研までに100名の布陣を揃えてまいります。

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	10	9	7	12	10	15	9	5	77
登録	8	◎9	◎12	8	8	10	4	2	61
出席	9	9	11	8	7	8	3	2	57
ゲスト						1			1

(中村副代表理事)

今回、参加者の皆さんの感想がたいへん良かったです。また例会委員会の模擬グループディスカッションも良く、ぜひ動画でいつでも見られるようにして欲しいという意見もありました。グループ長研修に出た会員がもっと学びたいということで良かったですと思います。

(報告者 宇土委員長)

中同協委員会でもまずしっかりと労使見解を学ぼうとなっています。ちょうどいい機会をいただいたと思います。

(模擬グループディスカッション実施 本多委員長)

良かったという声が多くあり、全研に向け、また支部グループディスカッションの質の向上に向け取り組んでいただければと思います。

(金井代表理事)

前向きな意見が多くありました。ぜひ役員研修会はいいんだよということをお伝えいただき、来期多くの動員をお願いします。

4)経営フォーラムについて(10月26日(金))

・五島支部よりライブ配信の際は二次離島からゲストを集うことを報告

5)例会について(更なる充実をめざして)ヒアリング-本多例会委員長

6)第49回中小企業問題全国研究集会について(2019年2月21・22日)-松尾実行委員長

・10月2日 中同協 第2回幹事会開催(全分科会報告者確定)

・長崎同友会で2分科会を担当(「ダイバーシティ」と「政策」)

報告者 ダイバーシティ 中村副代表理事・菅原ダイバーシティ委員長 政策 園田大村市長・時政策委員長

・10月4日 理事会前に第11回実行委員会開催

7)中同協 主要行事の参加状況

※9月13・14日 人を生かす経営全国交流会参加報告-参加者より

※9月21日 鹿児島同友会 設立30周年記念経営フォーラム 参加報告-松尾全研実行委員長

※9月27・28日 九州・沖縄ブロック事務局長会議(鹿児島) 参加報告-山田事務局長

8)事務局インターンシップ受入れ報告-峰事務局長

・9月19日~21日 1名受入れ

9)その他

・書籍紹介(山田事務局長より)

赤石義博氏 著書『人間尊重の経営~中小企業が切りひらく健全な市民社会への展望~』

愛媛同友会創業事務局長の故・鎌田哲雄専務理事 著書『陶冶』

※次回開催確認 11月5日(月) シーハットおおむら

3)役員研修会を振り返って(9月8日(土))-中村副代表理事(出席状況)

会員動向

●企業住所等変更

久松 恵 会員 (長崎出島支部)

新会社名: 心と身体の緩め屋
ゆすあ Ysua
新住所: 〒850-0905 長崎市籠町4-24

田端 正成 会員 (大村支部)

新会社名: 丸は運送(有)
新役職: 代表取締役
新住所: 〒859-0405 諫早市多良見町中里212-77
新TEL番号: 0957-49-2019
新FAX番号: 0957-27-2008

川上 利夫 会員 (佐世保支部)

新役職: 代表取締役会長

竹内 勝也 会員 (佐世保支部)

新会社名: 社会保険労務士法人 竹内事務所
新役職: 副所長

橋高 裕季 会員 (佐世保支部)

新役職: 取締役総務部部長

豊島 尚樹 会員 (佐世保支部)

新住所: 〒858-0923 佐世保市日野町325-1

会員数 (10月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	150	130	125	100	100	200	55	45	(1000)
期首	113	105	87	79	66	160	43	31	684
現在	111	104	97	87	67	177	43	32	718

退会者 (敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
天田 雄一	STUDIO DO(同)	長崎出島	2017年3月
梶崎 和人	LOKIDATA	大村	2014年11月
平田 光昭	(株)五島農園	五島	2013年10月

訃報



松田 一成 会員
(諫早支部)

10月13日にお亡くなりになりました。(享年72歳)
心よりご冥福をお祈り致します。



尾崎 彰宣 会員
(佐世保支部)

9月13日にお亡くなりになりました。(享年50歳)
心よりご冥福をお祈り致します。

11月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 11月20日(火) 18:30～21:00
会 場 長崎ブリックホール 4・5会議室
テ ー マ 今こそ事務作業の見直しをしませんか？事務
処理の断捨離で最適にスリム化する
～引き算式提案型アウトソーシングとは～
報 告 者 TM事務ソリューション 代表者
満越 正 氏

これまで多くの事務のアウトソーシングをやってきました。その中で感じることは、事務作業は追加されることばかりで減らされることがないこと。事務の効率化をはかるには、作業の見直しがとても重要なのです。これまで足し算ばかりの事務から、引き算していくという新たな手法を伝授し、事務作業のスリム化の手法をお伝えします。経営をしていくうえで、事務処理のスリム化は必須。スリム化することで、早く経営状況を知ることができます。

●長崎出島支部

日 時 11月20日(火) 18:00～20:00
会 場 サンプリエール
テ ー マ グループ長研修会
報 告 者 長崎出島支部1班メンバー

来たる全研に向けて、グループディスカッションの質を上げる為に、グループ長とはどういう役目なのかを一人一人がもう一度確認し、自覚し、2月の全研で長崎の代表として恥ずかしくない長崎出島支部メンバーとして全国の会員の皆様をお招きしよう！そして学びの場である中小企業同友会での貴重な時間をより良いものにしていこう！長崎出島支部1班メンバーで模擬グループディスカッションを行います。是非お楽しみに！

●大村支部

日 時 11月26日(月) 18:30～21:15
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ グループ長研修
報 告 者 (株)広告のアクセス 代表取締役
山領 進 会員 (佐世保支部)

9月8日に開催された県の役員研修会の主要テーマである「グループ長研修」を一般会員向けに開催します。グループ長を行うにあたり心得・勘所を佐世保支部・山領さん(副代表理事)がわかりやすく説明。模擬グループディスカッションを見学し、今度は実際にディスカッションテーマに沿って実践します。例会のグループディスカッションだけではなく、自社での会議運営、社員とのコミュニケーションスキル向上につながる研修です。大村支部での開催は初めてとなります。他支部からの参加も可能です。

●諫早支部

日 時 11月14日(水) 18:30～21:00
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ 職人から経営者へ
報 告 者 (有)後田木工所 代表取締役
後田 隆二 会員

住宅建築業界の技術革新に伴い変わっていく仕事内容や受注環境。又、それに対応する二代目経営者としての意識の変化と今後の目標について。

●島原支部

日 時 11月22日(木) 19:00～21:15
会 場 HOTELシーサイド島原
テ ー マ 未定
報 告 者 プライアント(株) 代表取締役社長
橋口 久 氏 (佐世保支部)

●佐世保支部

日 時 11月21日(水) 18:30～22:40
会 場 アルカスSASEBO 3F 大会議室
テ ー マ ダイバーシティ委員会プレゼンツ
女性が輝ける会社になるために
報 告 者 リーブルミュージック (ミュージシャン)
代表者 浦崎 健治 会員
(株)フォーオールプロダクト (福祉事業)
代表取締役 石丸 徹郎 会員
スタイリッシュワーズ(有) (美容業)
代表取締役 綿川 洋 会員
(有)山崎マーク (製造業)
代表取締役 山崎 秀平 会員

11月例会は、ダイバーシティ委員会が主催する例会です。ダイバーシティとは、女性、障がいのある人、外国人など多様性を受け入れ、企業の成長に活かすという考え方です。報告者3名に共通することは、女性の社員が多いという事。どうすれば生き生きと働いてもらえるか日々考え、実践しています。現在、日本中でダイバーシティ経営に取り組む動きが活発になってきています。職場環境や、産休などを定めた就業規則の整備、実際起こった様々なエピソードを紹介しながら、女性の輝ける会社になるにはどうしたらよいか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

●北松浦支部

日 時 未定
会 場 未定
内 容 未定

●五島支部

日 時 11月14日(水) 18:30～21:00
会 場 観光ビル はたなか
テ ー マ 未定
報 告 者 (株)ダイキョープラザ福江店 店長
高細 圭一 会員

●青年経営者会

日 時 11月28日(水) 19:30～
会 場 沖縄
内 容 青年経営者会 35周年記念事業